

## 制服・標準服 Q&A

平成 27 年 9 月

着用をお願いするにあたり Q&A にまとめましたのでお知らせします。

### Q1 「大泉桜学園の制服」とはどんなものですか？

**A1** 「大泉桜学園の制服」は本校開校当時から着用をお願いしていますオリジナルの服装です。小中一貫教育校である本校の開校にあたり地域、保護者、教職員、区教育委員会、メーカー等多方面からご意見を聞き、学ぶ場にふさわしい主体性のある服装、家庭での洗濯の可否や耐久性、経済性、デザイン性等の観点から詳細に検討し現在の「大泉桜学園の標準服」となりました。7年生以上は原則着用、5、6年生は強く推奨、1～4年生は推奨している服装です。いままでは「標準服」と呼んでいましたが、今後「制服」と呼び方を改めます。本校の伝統を担うシンボルである制服として取り扱って参りたいと考えるからです。

### Q2 学びの場にふさわしい服装とはどんな服装ですか？

**A2** 学校は勉強するところです。勉強する場で活動するのにふさわしい服装の事です。スポーツをする際に皆様がスポーツウエアを着用することと同様の考え方です。しかしながら、勉強は少なからず節度や我慢が強いられます。節度や我慢の心は、生きる力として大事な要素であります。その心も支え育む服装が学びの場にふさわしい服装と考えます。

基本は制服と制服に準ずる標準服です。着用することによってご家庭で学ぶ心構えを作り登校させていただきたいと考えます。校内においても制服や標準服を着用することで学習に取り組む落ち着いた環境を高め、更には制服に愛着をもち、のぞましい愛校精神を育みたいと考えます。

また、近年本校周辺でも不審者出現の情報が多く寄せられています。きちっと制服または標準服を着用し登下校することで被害防止にもつながると考えます。

### Q3 「大泉桜学園の標準服」とはどんな服装ですか？

**A3** 「大泉桜学園の標準服」は制服に準ずる服装です。白・紺・黒・グレー色を基調とした服装です。男子は白のポロシャツと紺または黒・グレーのスラックス、紺または黒・グレーのセーターやベスト、女子は白のポロシャツと紺または黒・グレーのスカートまたは防寒用のスラックス、紺・黒・グレーのセーターやベストです。

### Q4 なぜ標準服があるのですか。制服だけでもいいと思いますが。

**A4** 体の成長のスピードが速く、活動量の多い低学年児童の服装として標準服を考案いたしました。特に夏場は洗濯替えのために枚数が必要で、汚れが頻繁になることが十分予想できます。買い換えもし易いものとしたしました。まずは、現在ご家庭にある白のポロシャツや黒のスラックスで十分対応可能です。天候や気候・学習内容によって制服着用が難しい場合に着用させてください。制服との組み合わせで一部標準服という着用の仕方も可能です。ただし、ジーンズ、ワークパンツ、スパッツあるいはジャージ素材のものは、学ぶ場にふさわしいものと考えておりません。

**Q5** 今までは、朝礼など儀式的な行事のある日は標準服又は標準服に準ずる服で、それ以外の日は華美でない私服でよかったです。これからは登校する際は毎日「大泉桜学園の制服」か「大泉桜学園の標準服」を着用するという事ですか。

**A5** その通りです。より学びの場にふさわしい服装での登校をお願いいたします。

### Q6 区立の公立学校で制服を制定するのは、まずありませんか。

**A6** 都内では台東区や中央区の小学校で制服を着用しています。また、品川区立等の小中一貫教育校で制服を制定している学校もあります。他府県にも先行例は多数あります。制服によって学習効果も期待できます。学校として社会通念上認められる範囲で、定めさせていただきたくよろしくお願いたします。

**Q7** 「大泉桜学園の制服」「大泉桜学園の標準服」を全学年で登校の際に着用するのはいつからですか。

**A7** 移行期間を第2学期平成28年1月8日～28年3月にします。この期間にご準備ください。来年度28年4月から完全実施とします。

**Q8** 制服や標準服はどこで購入できますか。

**A8** 制服・標準服を購入できる専門店が近隣に4店舗あります。お子様に合ったサイズでの用意があり、修理等の相談も在学中の9年間を通してできます。例年2月に、本校西体育館において採寸・注文日も設けています。ただし、「大泉桜学園の標準服」については色、形、丈、材質等が同様であれば、他店でのご購入も可能です。学校説明会 平成27年9月12日(土)、入学説明会 平成28年2月13日(土)に見本の展示もいたします。

**Q9** 制服や標準服の購入で家計への負担となるのではないのでしょうか。

**A9** 1着の購入価格で比べるとそう捉えられるかもしれませんが、長期間着用できること、毎日、学びの場にふさわしい私服をわざわざ用意することなどを考えますと実際にはコストパフォーマンスに優れます。

内閣府資料『インターネットによる子育て費用調査』（平成22年3月）によると小学生（第1子）にかかる私服費用は年間約45,000円です。本校の制服一式（30,540円）を購入し3年間着用したとすると1年間では $30,540 \div 3 = 10,180$ 円。学校外で着用する私服費用を年間約22,500円とすると合計して年間10,180円+22,500円=32,680円。私服のみの場合と制服着用の場合の差額は45,000円-32,680円=12,320円。制服着用によって年間約12,000円の節約ができ、「冠婚葬祭の際に着用する服の購入が不要」等も含めると経済的効果が大きいと考えられます。

**Q10** 「大泉桜学園の制服」を低学年児童が日常的に着用すると学習内容によっては活動しにくい場合があります。その際着用するスモックのような学習作業着を持たせてもよいですか。

**A10** 汚れなどが気になる際の学習作業着については必要があると考えています。色、形、収納場所等を含めて現在検討中です。

**Q11** 「大泉桜学園の制服」を着用している7, 8, 9年生は校帽を着用していません。「大泉桜学園の制服」着用していれば、校帽は着用しなくてもいいのではないですか。

**A11** はい、そうです。「大泉桜学園の制服」「大泉桜学園の標準服」を着用して西校舎で中学生と同じ生活をする5, 6年生は着用しなくてもよいこととします。ただし、校外学習等で健康面や安全面で帽子着用が求められる場面では着用します。現在着用している校帽を来年度以降も保管しておいてください。なお、1～4年生は毎日の登校時着用とします。

**Q12** 体育着も変更がありますか？

**A12** 基本的に変更はありません。ただし、体育着の上に着る防寒用の上着が必要な児童は本校指定上着を着用するようにしました。なお、この上着は7年生以降も着用可能です。体育着販売店で購入できます。